

明後日新聞社

岐阜

www.asatte.jp

発行元：明後日新聞社 岐阜支局

社主：日比野克彦

〒500-8368 岐阜県岐阜市 宇佐 4-1-22 岐阜県美術館

### 「明後日新聞・岐阜支局版」創刊にあたって

「明後日(あさって)新聞」?それってナンヤローネと思われた方が多いかもしれませんが、創刊にあたり、まずはみなさんの疑問を解き明かしましょう。「明後日新聞」は、毎日届きません。明日も届きません。「じゃあ新聞はいつ届くんですか?」の問いには「明後日あたり」と明後日の方向を見て答えることを社訓としています。明後日新聞は、明日のそのつぎを思い描きます。社主は日比野克彦(岐阜県美術館館長)さんです。

「明後日新聞」は2003年、取材という形で地域の人たちとの交流を図る活動の媒体として、新潟県十日町市葦平(あざみひら)の廃校を本社として発足しました。その後、全国で支局が設立されました。

そして、二二岐阜に岐阜支局を設立し「明後日新聞・岐阜支局版」を創刊することになりました。明後日新聞・岐阜支局版は、岐阜県美術館の活動「アートコミュニティー・さながラー」の活動「地域のアーティスト」主にこれら三つを取材し新聞というフォーマットで地域の人たちとの価値を共有し交流することを目指します。

その記念的創刊号では県内で展開されている「明後日朝顔プロジェクト」を特集します。

### 「明後日朝顔プロジェクト」ってナンヤローネ

特集する「明後日(あさって)朝顔」って何?明日の朝ではなくて明後日に咲く朝顔のこと?と思われた方、残念ながらいざです。明後日朝顔はちげんと明日の朝に咲きます。このプロジェクトもまた日比野克彦さんが2003年、葦平で始めたプロジェクトです。「明後日新聞社文化事業部」が中心となり地域の人たちと朝顔を育てた経緯もあり「明後日朝顔」と名付けられました。「明後日朝顔プロジェクト」は、花を咲かせることを目的としています。その種に価値を見出し、葦平の人たちが育んだ種には、彼らの記憶と想いが詰まっています。その想いの詰まった種が水戸へ、さらには福岡、大宰府、岐阜へ、年々、さまざまな地域に運ばれ、その地で育つことで、地域のコミュニティを育み、さらに収穫された種は、各地に運ばれ人や地域と地域をつなぐものになりました。そんな「明後日朝顔」は岐阜県内のいくつかの地域、コミュニティでも育てられています。

それらを取柄し「明後日朝顔」を生育すること生まれる不思議な気持ち共有したく特集します。

### 「アートコミュニティー・さながラー」ってナンヤローネ

さて、「明後日新聞・岐阜支局版」は、アートコミュニティー・さながラー、明後日新聞が制作・発行します。「アートコミュニティー・さながラー」は、アートから生まれるコミュニティを大切に、岐阜に生きる人やチームと結びつきながら、岐阜県美術館を拠点に人、人、作品、人と文化をつなぎ、新たな価値や関係を社会にひろげる活動をしています。さながラーは想いを共有するチームをつくり活動します。そのチームを舟と呼び、私たちは「明後日新聞版」という舟に乗って漕ぎ出しました。メンバーの誰も新聞制作の経験はありませんが、「明後日新聞」を触媒として人、人、作品、人と文化をつなぎ、新たな価値や関係を社会にひろげられるよう努めます。よろしくお願いたします。(編集長 加納)

### 明後日朝顔全国会議 2023 in 岐阜

#### 全国会議初日 キングオブタネ発表

岐阜全国会議初日、各地域からキングオブタネの発表プレゼンがありました。各地域とも熱の入った発表でした。前日、台風で全国の交通機関が絶望的な状況の中、各地から多くの参加者が駆けつけました。2日間かけて岐阜に辿り着いた熊本チームが、観光協会も驚くような、熊本の名所とグルメ案内で投票結果も見事1位に輝きました。

お祝いに、市橋保育園から地元地田町の名酒のプレゼントがあり、日比野館長から熊本チームに手渡されました。来年の全国会議は熊本県で開催の予定です。(記者 鳥野)



#### 寄稿 市橋保育園での取り組み(地田町)

2006(平成18)年、岐阜県美術館で日比野克彦さんの個展が開催され、関連イベントとして行われた「明後日朝顔たねまき式」にお誘いいただいたのが、市橋保育園年長組がプロジェクトに参加するきっかけでした。

そして現在に至るわけですが、当初は県内各所に展開していた拠点も、徐々に少なくなりました。時期があって、市橋保育園としては「明後日朝顔岐阜」の灯を守っていく、そんな一筋で続けてきました。

当然、全国会議も、一保育園の年間行事のような取り組みから地域へ展開していかないと、とても手を挙げられないと思っていました。岐阜県美術館にアートコミュニティー「さながラー」が誕生、岐阜県美術館と市橋保育園の共同開催による全国会議2023が実現したことは、心の底からうれしく、尚且、多くの参加者に園までお越しいただいたことは、夢のような出来事でした。

それまで、市橋保育園職員間では、「明後日朝顔岐阜」というワードは耳にしながも「園長先生の趣味?」と思っていた筈なんです。おもてなし企画にみんな協力してくれました。「こんなプロジェクトだったんですか!」と今さらながら趣旨共有のきっかけになったようです。あったため、全国会議2023ご出席のみなさま、ご参加ありがとうございました。

### 日比野克彦館長・社主からのメッセージ

明後日新聞社文化事業部が発行している新聞ですので、この新聞は文化事業として生まれた作品ということになります。

2003年に大地の芸術祭の中でスタートした明後日新聞社文化事業部は、明後日朝顔の活動を中心として全国で展開しています。新聞発行としては新潟県十日町市の葦平(あざみひら)という集落で今年で20年目になり継続しています。

地方ではこれまでに、水戸、金沢、熊本、十代田、さいたま、などで発行してきました。

今回岐阜では初めての創刊となり、岐阜らしい展開にこのあとも無理なく続いていくといいなあと思っています。

きっとゆる〜く繋がっていくような気がする。



全国会議2日目 市橋保育園参加者のみなさん

園の日々の生活や地域の日常のなかにアートがある。ひとりひとりがう形の記憶として残っていく、そんな明後日朝顔岐阜プロジェクトの広がりをめざしていきたいです。

市橋保育園 園長 鷹橋賢淳



### アートフィールドドテクテク(岐阜市)

「アートフィールドドテクテク」で明後日朝顔を育てているみたいだ、ということで、取材に行きました。「アートフィールドドテクテク」は創作活動・アート表現に特化した生活介護事業所で、絵を描くスペースのほか、はた織り機や焼き物の窯などがあり、所属作家が制作する場でもあることも、開かれた場所となるよう、企画展や見学会を開催したり、また講師を招いての陶芸活動や音楽活動など色んな活動をされています。

明後日朝顔を育てるきっかけとなったのは、職員の馬淵さんから朝顔を育てたいという話から、所長の森さんがロープを張って準備をされたそうです。初めは小さな花ばかりだったけど、段々花も大きくなり、沢山の花も咲き、種も沢山できていたの事でした。所属作家のAに「朝顔ってどう？」とお尋ねしたところ「楽しい」「きれい」「いい感想でした。」

その後、施設の中を案内していただきました。丁度、はた織りを始める準備をされている、縦糸を張るのに主任の森さんと所属作家の方で共同で作業をされていました。横糸を織っていくのは作家さんで、とても軽やかに織ってあげられました。森さんにお聞きすると、彼女にとって織物を織ることは楽しいことであって、毎日ほぼ休みなく時間ほど集中して一つの作品を織りあげてしまわれるこの事でした。また、同じ部屋に置いてあった大きな織り機や糸は全てご縁が繋がって、寄附をして頂いたそうです。あちやんのはた織り機を寄附したお孫さんが遊びに来ていた際に、そのはた織り機が再び使われているという話を大変喜んでくださっていました。作業の途中、短い糸になってしまった後にも、結んで繋いで大切に使用して頂いているというお話でした。



次に、目の動きを読み取って絵を描くシステムを使って絵を描いてもらえる大の制作の様子も見せていただきました。何度か色を重ね、複雑な色と形がじんじん生まれてきました。何枚も描く中で納得した作品を発表されているとのこと。彼女の絵は、全国のアートフェスにも参加依頼が沢山来ているとのことでした。



また、糸や布を丸めたり、結んだりし、複雑に絡めて立体にした作品を見せていただきました。こちらの作品は11月にぎふ清流文化プラザ(岐阜市)で開催される、「いろいろなみんなの展覧会 虫が、食む。」に招待作家作品として展示が予定されています。



10月31日(火)までアートフィールドドテクテクに於いて「ART FIELD 所属作家セレクト展 The 1st」展が、それぞれの hobby、趣味、スキル展が開催されています。二つのご紹介させていたいただいた作品のほかにも素敵な作品が沢山展示されています。お近くにお立ち寄りの際にはぜひお出かけください。(記者 高橋玲)

住所:岐阜市東野東1丁目40番  
TEL(058)214の3211

### 金沢21世紀美術館



全国会議で日比野館長が「金沢21世紀美術館で明後日朝顔を復活し、来週苗植えする」というお話を聞き、6月に金沢へ行った際に見てきました。全国会議の際、金沢からの参加者の大に場所を聞いていたのですが、すぐ見つかりました。苗植えから10日程たったのでしようか?そろそろロープにつかまるぞという感じでした。

明後日朝顔は「みらい畑」★という場所に木枠とロープできれいに植えられています。この日も若い女性ふたりが草取りなどのお世話をしておられました。

8月に記者の中野が訪ねたところ、もりもりと花が咲いています。

★「みらい畑」はこの美術館と地域の将来を考える「未来カフェ」というグループが運用しているスペースで、ガラス越しに館内からも見えるところも良い場所にあります。皆さんで、落ち葉の堆肥づくりから始め、二つを繋いでいろいろな活動をされているようです。(記者 中野)



### イベント案内・募集

#### 明後日朝顔収穫祭

岐阜県美術館で育った「明後日朝顔」の種の収穫祭が10月28日に予定されています。種のパワーを、不思議を実感しましょう。ぜひご参加ください。

開催日時 令和5年10月28日(土) 13時30分スタート(13時から受付)

#### アートコミュニティー・〜ながラー第5期募集

アートコミュニティー・〜ながラー第5期募集イベントを開催します!

【開催日】  
11月3日(祝)  
11月23日(祝) の二日間

★明後日朝顔収穫祭、〜ながラー5期募集の詳細は岐阜県美術館ホームページをご確認ください。

### 編集長コラム

#### 日本で一番高い所で明後日朝顔をアピール

この夏、69歳にして人生初の富士山登山に挑戦し成功しました。その目的の一つに、「明後日朝顔」Tシャツを着て日本最高峰に立ち「明後日朝顔」をアピールすることでした。富士山登山を経験した大先輩、この野望は天候に大きく左右されるとご存知だと思います。天候が不順ならばレインウェアの着用をしなければならず、気温が低ければ防寒着を着用、Tシャツを披露することは不可能になります。幸いにも7月27日の日、富士山頂は快晴、体感気温は20℃と薄着OKな気象条件となりました。剣ヶ峰山頂、標高3776m地点に立ち、「明後日朝顔」Tシャツを披露したとき、なんと計4人の大から次々と背中「明後日朝顔」の「つ」の気持ち「つな」に声をかけられました。越平からのストーリーを語らせていたけれど、山頂ではみなさんハイテンションで盛り上がるんだ。「さっしー」「わたしもやっつめた」「めいめい」「さっしー」「わたしもやっつめた」的にならな山頂に響き明後日朝顔Tシャツを披露しました。みなさんも「明後日朝顔」Tシャツをいろんな場面で着用し「明後日朝顔」をアピールしましょう。



この新聞は〜ながラーが明後日新聞社とコラボして発行しました

(2期) 加納 綾 松本 博之 高橋 玲子 (3期) 島野 真介 中野 里菜 (4期) 林 祐子 多田 知美 高橋 香織

